



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日
上場取引所 東

上場会社名 フィールズ株式会社
 コード番号 2767 URL http://www.fields.biz/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 繁松 徹也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート
 コミュニケーション室長 (氏名) 畑中 英昭 (TEL) 03-5784-2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	26,659	△47.0	△6,275	—	△6,828	—	△4,856	—
28年3月期第2四半期	50,255	147.1	1,884	—	1,930	—	706	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △5,507百万円(—%) 28年3月期第2四半期 820百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△146.34	—
28年3月期第2四半期	21.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	80,526	51,709	63.3
28年3月期	92,478	58,291	62.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 51,011百万円 28年3月期 57,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	25.00			
29年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	21.7	2,000	41.7	2,000	44.9	1,000	742.7	30.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	34,700,000株	28年3月期	34,700,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,516,300株	28年3月期	1,516,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	33,183,737株	28年3月期2Q	33,183,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は平成28年10月28日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第2四半期連結累計期間(4月-9月、以下「当第2四半期」)の概況]

当社グループは、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げています。この実現に向けて世の中の人々の心を豊かにする商品やサービスの企画、開発、提供に努め、持続的成長を目指しています。

中長期的な成長戦略としては、エンタテインメントの根幹となるキャラクターやストーリーなどのIP(知的財産)をコミック、映像、ゲーム、さらにはパチンコ・パチスロに至るクロスメディアで展開する循環型ビジネスを推進しています。

当年度においては、IP価値向上と収益力向上を目指して、メジャー化及びシリーズ化が見込めるIP群に投資を集中させ、国内外のパートナーと協力し、IPを国内のみならずグローバルでの展開を加速させています。

経営成績については、以下の通りです。

売上高は26,659百万円(前年同期比47.0%減)、営業損失6,275百万円(前年同期の営業利益1,884百万円)、経常損失6,828百万円(同経常利益1,930百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失4,856百万円(同親会社株主に帰属する四半期純利益706百万円)となりました。

当第2四半期の業績としては、「平成28年3月期決算短信(平成28年4月27日付)」にて公表した連結業績予想に対し、当初計画通りの進捗となっています。これは、パチンコ・パチスロ分野において、大きな需要が見込まれる年末年始商戦に大型タイトル等を集中させていることによるものです。

具体的な事業活動については、以下の通りです。

コミック分野におきましては、紙媒体市場の縮小傾向が続いています。一方、スマートフォンやタブレットなどのデバイスを活用した定額制読み放題サービスの普及等により、電子書籍市場の拡大が予測されています。

当社グループは、コミック誌『月刊ヒーローズ』を通じて、引き続きヒーローIPの創出に注力しました。また、電子書籍プラットフォームにおいて、国内での配信先の拡充を推進し、海外では新たに中国以外の東アジアの配信事業者とのパートナーシップの構築を進めました。

映像分野におきましては、SVOD(Subscription Video On Demand:定額制動画配信)などの新たなプラットフォームの誕生により、国内外において飛躍的な市場規模拡大が予測されています。

当社グループは、エンタテインメント業界の有力企業や米国、中国等のSVOD事業者と協力し、ヒーローズ作品も含めグローバル展開を見据えた映像製作に注力しています。なお、平成28年10月に劇場公開した『GANTZ:0』では、映像製作と並行して遊技機販売等のクロスメディア展開を実施しました。

ゲーム分野におきましては、ソーシャルゲーム市場の伸びが全体的に鈍化しているものの、有力IPを活用したコンテンツが世界的にヒットしたこと等により、IPの重要性が再認識されています。

当社グループは、収益性やゲーム性を改善したタイトルの積極的な広告展開を推進するとともに、他社IPとのコラボレーション企画等を実施しました。また、当期中のサービス開始を目指した新規タイトルの企画開発に加え、既存タイトルの海外展開や海外有力コンテンツの国内展開に向けた諸施策を推進しました。

ライブエンタテインメント分野におきましては、ミュージカルや演劇を中心に市場規模が堅調に推移しています。

当社グループは、国内の主要都市を中心にライブエンタテインメント・ショーを積極的に展開するとともに、東南アジアでの定期的な開催に向けた企画開発等を進めました。また、国内のテーマパークにおける『AKB48』を活用したライブショーを企画・プロデュースする等、新ジャンルのライブエンタテインメントの創出にも注力しました。

ライセンス分野におきましては、引き続き定番キャラクターの新たな活用や大人向け衣料品へのライセンス展開など、新市場開拓に向けた動きが国内外で活性化しています。

当社グループは、IPビジネスの領域拡大及び新たなライセンスビジネスの確立に向けて、様々な事業領域における有力企業との連携を強化しました。また、海外市場の開拓に向け、東アジアを中心にパートナーシップの構築を進めました。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、平成28年12月のパチンコ機（検定機と性能の異なる可能性のある遊技機）の撤去期限にともない、新基準機への入替が活発化しています。

当社グループは、業界全体の活性化を目指し、商品力の強化、流通商社としてのサービス拡充、並びにファンの拡大に向けた諸施策を推進しています。当第2四半期は、有力ゲームIP等を活用した商品を販売し、7機種73千台を計上しました。あわせて、年末年始商戦に向けた諸施策を戦略的に行っています。

なお、個別IPの取り組み等については、別紙「平成29年3月期 第2四半期決算短信 補足資料」をご覧ください。

(注) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、42,945百万円と前連結会計年度末比9,988百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、10,969百万円と前連結会計年度末比478百万円の減少となりました。

無形固定資産は、3,090百万円と前連結会計年度末比656百万円の減少となりました。これは主にソフトウェアの減少によるものです。

投資その他の資産は、23,521百万円と前連結会計年度末比827百万円の減少となりました。これは主に長期貸付金の減少によるものです。

以上の結果、資産の部は80,526百万円と前連結会計年度末比11,951百万円の減少となりました。

(負債の部)

流動負債は、20,393百万円と前連結会計年度末比9,416百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少及び短期借入金の減少によるものです。

固定負債は、8,424百万円と前連結会計年度末比4,047百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

以上の結果、負債の部は28,817百万円と前連結会計年度末比5,368百万円の減少となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、51,709百万円と前連結会計年度末比6,582百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7,564百万円減少し、24,636百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、7,575百万円（前年同期は12,052百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失7,090百万円、仕入債務の減少8,271百万円、売上債権の減少6,718百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,511百万円（前年同期は1,444百万円の支出）となりました。これは主に貸付けによる支出2,272百万円、貸付金の回収による収入2,016百万円、出資金の払込による支出823百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,522百万円（前年同期は1,415百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入4,500百万円、短期借入れによる支出1,873百万円、配当金の支払829百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成29年3月期 見通し	平成28年3月期 実績	前年同期比
売上高	115,000百万円	94,476百万円	21.7%増
営業利益	2,000百万円	1,411百万円	41.7%増
経常利益	2,000百万円	1,380百万円	44.9%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000百万円	118百万円	742.7%増

通期連結業績予想は、「(1) 経営成績に関する説明」に記載の通り、平成28年4月27日発表の「平成28年3月期決算短信」で公表した内容より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,200	24,736
受取手形及び売掛金	8,562	3,603
電子記録債権	1,142	482
商品及び製品	346	521
仕掛品	2,596	3,244
原材料及び貯蔵品	78	86
その他	8,027	10,298
貸倒引当金	△20	△27
流動資産合計	52,934	42,945
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,550	7,316
その他	3,897	3,652
有形固定資産合計	11,447	10,969
無形固定資産		
のれん	1,298	1,170
その他	2,448	1,920
無形固定資産合計	3,746	3,090
投資その他の資産		
投資有価証券	9,716	8,364
長期貸付金	9,729	8,358
その他	6,095	6,921
貸倒引当金	△1,193	△123
投資その他の資産合計	24,348	23,521
固定資産合計	39,543	37,580
資産合計	92,478	80,526
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,749	4,407
短期借入金	11,414	9,541
1年内返済予定の長期借入金	8	301
未払法人税等	690	66
賞与引当金	375	328
役員賞与引当金	214	134
返品調整引当金	22	22
受注損失引当金	77	86
その他	4,256	5,505
流動負債合計	29,809	20,393
固定負債		
長期借入金	—	4,191
退職給付に係る負債	643	628
その他	3,732	3,604
固定負債合計	4,376	8,424
負債合計	34,186	28,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,994	7,994
利益剰余金	44,177	38,491
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	58,298	52,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△862	△1,490
為替換算調整勘定	△2	0
退職給付に係る調整累計額	△130	△111
その他の包括利益累計額合計	△994	△1,600
非支配株主持分	987	697
純資産合計	58,291	51,709
負債純資産合計	92,478	80,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	50,255	26,659
売上原価	36,407	21,473
売上総利益	13,848	5,186
販売費及び一般管理費	11,964	11,461
営業利益又は営業損失(△)	1,884	△6,275
営業外収益		
受取利息	26	43
受取配当金	77	74
仕入割引	411	109
その他	197	164
営業外収益合計	713	392
営業外費用		
支払利息	13	14
持分法による投資損失	490	713
出資金償却	108	54
その他	54	163
営業外費用合計	666	945
経常利益又は経常損失(△)	1,930	△6,828
特別利益		
固定資産売却益	37	13
投資有価証券売却益	94	—
特別利益合計	132	13
特別損失		
固定資産除却損	38	47
減損損失	—	81
訴訟関連損失	34	94
その他	4	51
特別損失合計	78	275
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,984	△7,090
法人税等	1,047	△2,187
四半期純利益又は四半期純損失(△)	936	△4,902
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	230	△46
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	706	△4,856

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	936	△4,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	△626
為替換算調整勘定	△1	2
退職給付に係る調整額	15	19
その他の包括利益合計	△116	△604
四半期包括利益	820	△5,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589	△5,462
非支配株主に係る四半期包括利益	231	△44

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,984	△7,090
減価償却費	1,049	945
のれん償却額	165	160
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△199	△46
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△140	△79
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△49	11
受取利息及び受取配当金	△103	△118
持分法による投資損益(△は益)	490	713
支払利息	13	14
投資有価証券売却損益(△は益)	△94	—
売上債権の増減額(△は増加)	35,431	6,718
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,318	△747
商品化権前渡金の増減額(△は増加)	649	△568
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,426	△8,271
その他	△1,200	827
小計	14,243	△7,525
利息及び配当金の受取額	118	121
利息の支払額	△13	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,296	△158
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,052	△7,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△617	△309
無形固定資産の取得による支出	△546	△234
投資有価証券の売却による収入	106	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	652	—
関係会社株式の取得による支出	△100	△5
貸付けによる支出	△2,543	△2,272
貸付金の回収による収入	1,436	2,016
その他	167	△707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,444	△1,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,740	△1,873
長期借入れによる収入	—	4,500
長期借入金の返済による支出	△26	△15
配当金の支払額	△1,160	△829
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△24	—
その他	△112	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,415	1,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,023	△7,564
現金及び現金同等物の期首残高	15,823	32,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,846	24,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。